

## ○ 委員長報告

2月定例本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

平成31年2月定例会

### 建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、三島川之江港へのガントリークレーンの整備についてであります。

このことについて一部の委員から、整備の進捗状況と整備後に期待される効果等はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、三島川之江港のガントリークレーンは、地元からの強い要望を受けて整備に取り組んでおり、来年度の国の補助採択が得られるよう、昨年8月と11月、また今年2月に国土交通省に要望を行ったところである。

今後、三島川之江港に設置されているハーバークレーンの1.5倍の荷役能力を有するガントリークレーンが整備されることで、荷役の停滞や、船舶の沖待ちが解消され、また、万一故障の際も、既設のハーバークレーンを予備機として活用することができるなど、地元経済活動の活性化や取扱貨物の増加を期待している旨の答弁がありました。

第2点は、災害からの住民の避難支援についてであります。

このことについて一部の委員から、洪水避難支援体制強化事業の具体的な内容はどうか。また、洪水や土砂災害からの住民の避難支援等にどう取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本事業では洪水浸水想定区域図の策定や河川監視カメラの設置などを予定しており、浸水想定区域図については、策定進度を上げるため、来年度5地区を追加し、洪水ハザードマップを作成する市町と連携して取り組むこととしている。

また、緊急時に住民が適切な避難行動を取れるよう支援するため、緊急速報メールなどにより切迫した土砂災害の危険度の周知を図るほか、防災教育を充実し防災意識の向上にも取り組むなど、ソフト対策とハード対策を効果的に組み合わせ、県民の安全・安心の確保に努めていきたい旨の答弁がありました。

第3点は、県内の高速道路のミッシングリンクの解消についてであります。

このことについて一部の委員から、未着手となっている内海～宿毛間の概略ルートの内容と事業化への見通しはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、先月、国の四国地方小委員会です承された内海～宿毛間については、国道56号の代替ルートとなる2車線の自動車専用道路とされており、津波による浸水の影響を受けない高台に建設され、市街地や防災拠点等とのアクセス性に優れたルートとなっている。

既に国土交通省において最終決定され、計画段階評価が完了したところであり、今後は、詳細ルート等の検討、都市計画決定や環境影響評価などの手続きが進められることから、引き続き国等と連携し、早期事業化に向け協力していきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ JR松山駅付近連続立体交差事業
- ・ とべ動物園の魅力向上
- ・ 県内建設業界の将来の見通し

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。